

誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして

今、地域の中では、「買物」や「掃除」、「ごみ出し」といった日常生活での困りごとや、「話し相手がいない」、「一人暮らしで災害が起こった時は不安」といった悩みごとを抱えている高齢者や障がいのある方が増えています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮し続けるためには、こうした困りごとや悩みごとを解決していくための「地域福祉のしくみづくり」が必要となります。

市では、社会福祉協議会や地域の皆さんと一緒に、新たな地域福祉のしくみとなる「安心生活応援プラン」に取り組みます。

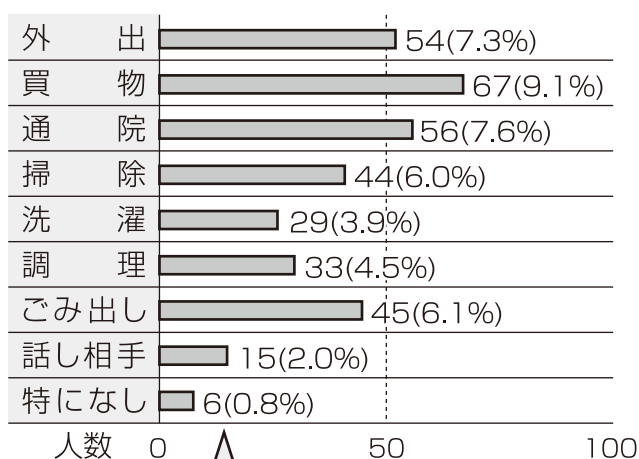
高齢者の見守りの現状

- 市内では、65歳以上の高齢者約800人が一人暮らしで生活をされています。
- 現在、民生児童委員、独居高齢者見守り推進員や地域の方々などによって、困りごと・悩みごとを抱えている方に対し、声かけ・見守り活動、買物やごみ出しといった日常生活での支援が行われています。
- 昨年7月に一人暮らし高齢者を対象に実施したアンケート調査では、依然として日常生活で何らかの不安や悩みを抱えている方が多くいることがわかりました。
- 高齢化が進む中で、一人暮らし高齢者の増加がさらに見込まれることから、その対応が求められています。

アンケート結果(抜粋) 民生児童委員による個別聞き取り調査(H22.7実施) 回答者数:735

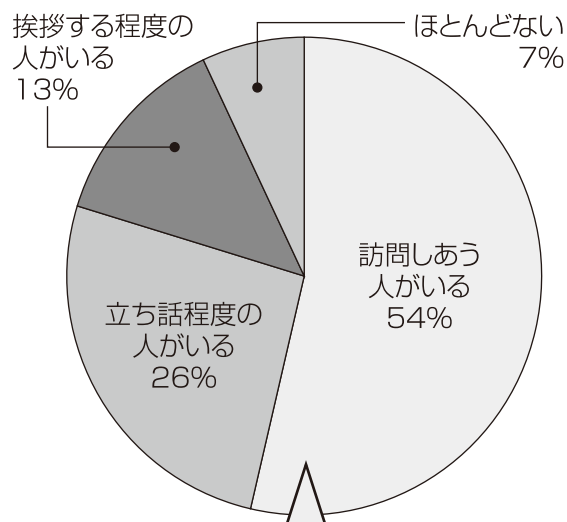
■日常生活で困っていること

(複数回答)



あったらいいサービスとして、
・買物サービス
・家事サービス
などが挙げられています。

■近所付き合いについて



約5人に1の方が、近所付き合いがあまりないことがわかります。